

チェルノブイリ事故を知る(第1回)

●鈴木 篤(連絡会世話人・弁護士)

今年12月にキエフから「ゼルニャトコ(小麦)」という名の舞踏団に所属する子ども達20人ほどが来日して、東京で避難生活を送る福島の子どもたちと交流することになりました。これまで、下町地域からは脱原発下町ネットワークを中心に、キエフの子ども達のための支援活動を定期的にしてきましたが、今回は、「今度は自分たちが福島の子ども達を励ます番だ」と、これまでの支援に対する恩返しとして、来日することになったものです。連絡会も実行委員会に加わり、その成功にむけて一緒に取り組むことにしました。チェルノブイリ原発事故から29年が経過し、現在30代半ばより若い世代の人たちの中には、「キエフって何？」という人も少なくないと思います。そこで、チェルノブイリ原発事故とキエフについて書くことにしました。

キエフは、ウクライナの首都です。1986年4月26日、そのキエフの北130kmにあるチェルノブイリで「レベル7」とされる原発事故が発生しました。事故は極めて深刻で、爆発に引き続いて発生した火災の消火に10日がかかり、その間に放出された放射能・放射性物質は、全世界に広がりま

した。事故から3年ほど経ってようやく公開された汚染地図を見ると、汚染は、必ずしも原発から同心円状に広がるのではなく、原発から数百kmも離れたところでも濃い汚染を示す地域が存在しています。これは福島原発による高汚染地域が、南相馬、飯館方向へ帯状に延びていることや、150km以上も離れた平泉や一関、赤城山、柏、牛久などに飛び地のようにホットスポットが表れていることと共通した現象です。福島の事故直後、放射性物質が流れていく方向に逃げたために多量の放射能を浴びた人たちがいますが、チェルノブイリの経験から作られたSPEEDIの情報が活かされていれば、そんなことにはならなかったのです。

2つの原発事故の経過を見ると、そこにいくつもの共通点が見られます。

- 1 チェルノブイリでは、当初事故の原因が「作業員のミス」とされました。原発そのものの構造的な欠陥が原因であることが隠されたのです。これは、福島事故で、「想定外の津波」に全ての原因をかぶせ、地震によって原発が損傷された事実を覆い隠そうとしたことと共通しています。
- 2 事故が起こった後、放射能汚染の危険性が十分に伝えられず、その結果、住民たちは、高い濃度の放射能に晒され続けました。
- 3 住民の中に急性障害や、晩発性障害が起こっても、その事実是否定されたり黙殺されたり、更にはそうした事実を公表しようとする人々に対する攻撃が加えられたりしています。

これらのことを「ソ連だから」と旧ソ連の体質に原因を求めて済ますことはできません。むしろ、事故の原因が原発そのものの欠陥に起因することや、事故による汚染の実情、事故の結果人々に起こる重大な健康障害の事実などを隠し、過小評価するについて、IAEA(国際原子力機構)やWHO(世界保健機構)などが積極的役割を果たしているのです。現に、1986年8月にウィーンで開かれたIAEAの秘密会議で、ソ連側は「今後癌で死亡する人は4万人に上るだろう」と推計したが、出席したIAEAの西側の国々はこれを受け入れず、推計値は4千人と結論付けられてしまいました。この構造はいまも続いていて、キエフを含むウクライナの現地から繰り返し報告されている癌に限らない様々な健康障害の事実は、「被曝との因果関係」を否定され続けているのです。

◆情報ファイル◆

●8月12日(水)18:30～
福島を忘れない『日本と原発』葛飾
上映会

主催:8.12上映実行委員会
会場:かつしかシンフォニーヒルズ
参加費:1,000円 ※当日入場可
連絡先:080-6529-6727(増村さん)

区内在住の有志9名を中心に実行委員会を作り、市民が自主上映する企画です。福島の「風化」を押しとどめ、「原発問題」を立ち止まって考える企画として取り組んでいます。当日製作者のKプロジェクトから木村結さんがお出でになり、上映前のごあいさつをいただく予定です。

●10月1日(木)12:30～
第58回人権擁護大会シンポジウム
放射能とたたかう～健康被害・汚染水・
汚染廃棄物

主催:日本弁護士連合会
会場:幕張メッセ国際会議場
2011年に起きた福島第一原発事故は、事故から4年以上が経過した今も、日本の広範な地域を放射能により汚染し、深刻な被害を与え続けています。このような状況を改善し、原発事故で被ばくした全ての人々に対する健康管理を透明性の高い方法で制度化し、健康診断と一定の疾病に関する医療費を無料化する制度を実現するための課題と方策を検討します。

●10月31日(土)13:45～17:00
全国節電所フォーラム2015
主催:同実行委員会
会場:韓国YMCA9Fホール(水道橋)
参加費:500円

省エネ・節電によってエネルギーが余ることは、エネルギーを「生み出した」のと同じです。日本には、まだまだ宝の山が眠っています。近年、発電所ならぬ「節電所」と位置づけ、様々な取り組みが行われています。そうした戦略的省エネを進めるための節電所フォーラムを開催します。



連絡会では、活動をお手伝いいただける方を随時募集中です。また、活動を続けていくためにカンパも大歓迎です。
◎郵便振替10140-92254391

●さようなら原発江戸川連絡会ニュースレター

連絡会だより

連絡会だより第19号 2015年8月10日

講演会

測ってわかる放射能の真実

ー松尾さんの講演から

●まとめ:山崎求博(連絡会世話人)

6月26日、勤労福祉会館で講演会「測ってわかる放射能の真実」を開催しました。参加した40名の市民を前に、放射線測定器メーカー社長の松尾さんから放射線汚染や被ばくについてご説明いただきました。また、持ち込まれた検体をその場で測定する測定会も行い、意外な結果に驚きの声があがりました。



松尾さんは様々なセンサーを扱う会社の社長さんです。放射線については、ミリオンテクノロジー社の測定器を扱っています。会場には、放射性物質の分析機(シンチレーター)を持ち込んでいただきました。20分ほどで測定でき、セシウム134、セシウム137、ヨウ素、カリウムの4種類を同定する能力を持っています。

松尾さんによると、政府資料は「CTスキャンで1回6,900マイクロシーベルト被ばくする」などと、あたかも福島事故による放射能の影響は無いと暗に言っていますが、自然界の放射性物質と人工のものでは異なると言います。また、医療現場ではガン細胞をマーカースするために2億ベクレルが体の中に入りますが、つまり内部被ばくと言うkことです。元々体内にはカリウム40や放射性炭素14のような自然由来の放射性物質

を摂取している。しかし、原発事故で出てきたものは人工のもので人体が初めて触れるものであり影響を受けてしまいます。

レントゲンのような一過性の外部被ばくに対して、鼻や口、傷口、目などの粘膜から体の中にはいると内部被ばくとなります。バリウムも放射性物質でガンマ線を出すことで胃の中が分かる。ある研究では、放射性セシウムを1日10ベクレル長期摂取すると、体内に蓄積され3か月半ほどでガンのリスクが出てくるそうです。福島では、マスクをしていないと口や鼻から汚染された塵を吸い込んでしまうが、ほとんどの人がマスクをしていません。それはマスクをできない状況にあるからです。

医療生協が運営する桑野協立病院(郡山市)では「“核害”に立ち向かう大運動プロジェクト」を展開しています。対策室を設置し、食料品や人体の内部被ばくを計測しており、計測器は当社の扱っているものを使っています。国の測定器ホールボディカウンターの計測値に近い値が出てきます。病院では勉強会や子どもの甲状腺検査を無料でっており、全国にある協立病院であれば測定してもらえるとのことでした。

松尾さんは、琉球大学の矢ヶ崎克馬・名誉教授の意見を紹介しながら、ICRPはチェルノブイリ事故後の放射線被害について甲状腺ガンしか対象とせず、心筋梗塞を起こした患者からガンマ線が検出されても



放射線ひばくについて語る松尾さん

さようなら原発江戸川連絡会ニュースレター 連絡会だより 第19号
〒124-0024 東京都葛飾区新小岩1-22-10 トーアファンシービル4階
江戸川法律事務所気付
TEL 03-3653-7643 FAX 03-3653-7606

無視しています。日本では、被ばく限度が1ミリシーベルトが20ミリシーベルト、食品基準もkg当たり100ベクレルまで容認され、強制被ばくさせられることになります。放射性物質が静岡県のキノコから検出され、出荷制限対象に指定されましたが、それは放射性物質を吸着しやすいことを意味しています。

1本の放射線(1メガエレクトンボルト＝1MeV)で2.5万個の細胞が死に至ります。福島事故の放射線は関東に限らず、静岡や長野、新潟や山形などにも流れていっています。80%が海に流れていったものの、汚染区域はチェルノブイリに比較して広く、人口密度も高く被害が大きくなる可能性があります。低汚染地域では、直後よりも3年後の方が心臓不整脈や鼻血が増えていきます。また、大人に対して子どもの方が1.5～2倍セシウムが蓄積する。チェルノブイリ事故の影響を受けたヨーロッパでは出生性比が変わり(男性よりも女性が増える)ましたが、それは男性は女性の変異体であり、男性遺伝子の方が放射能の影響を受けやすいからです。核物質を人類が制御するには早すぎたと考えています。



松尾さんの持ち込んだ測定器



測定の様子

◎質疑応答

①チェルノブイリ事故後、平均寿命が下がったが？

A:統計上下がっているが、事故の影響で寿命が短くなったわけではない。

②コメの全量検査は信用できるのか？

A:表面に出るものを測るが、水分があつたり、離れたりす

ると下がってしまうので正しい計測とは言えない。全体検査では10ベクレルだが、中に50ベクレルのものがあるても分からない。

③柏市でもマスクしておいた方が良いのか？

A:マスクに加えてゴーグルをすることで目の粘膜からの吸収を防ぐことができる。特に風が強かったり乾燥したりしている時は気をつけた方がよい。

④なぜ心臓疾患との因果関係が指摘されるのか？

A:セシウムが筋肉組織に吸着するが、筋肉のかたまりである心臓に集まる。チェルノブイリ事故では心筋梗塞で亡くなった人の心臓から検出されており、因果関係があるのではとされている。

⑤除染しても放射性物質は降り積もるのではないのか？

A:その通り。大部分流れた海や川から蒸発して雲になり雨が降ったり、除染されていない山間部から戻ってくる。

⑥海で遊ばせるのはどうか？

A:小さな子どもは要注意。エネルギーの強い放射線がいつ当たるか分からない。10億分の1のロシアンルーレットをしているようなものだ。

⑦水道水に炭を入れているが、水道水はどうか？

A:水道水からは検出できない。2ベクレル程度か。かなり安全だ。

⑧重金属なら沈殿するが、泳ぐ魚への影響はどうか？

A:海洋生物ではグリーンピースが計測しているが、キハダマグロから検出されている。貝類や穴子なども良くない。底にいる魚だけでなく回遊魚であっても安全とは言えない。マグロは大きく口を開けて泳ぐので吸い込んでしまう。

⑨ラジウム温泉の放射線は体に害があるか？

A:害がある。ラジウムはエネルギーは高いが軽いのでセシウムよりも害は少ない。温泉では蒸気の吸い込みに注意した方がよい。

⑩天気予報のように示してはどうか？

A:福島県内では情報提供している。

⑪市販されているキノコや牛乳はどうか？

A:産地によって異なる。自衛するならなるべく西日本のものを選んだ方がよい。

◎計測結果(1kgを測定)

- ・葛西沖にある砂浜の表層 セシウム137=4ベクレル
 - ・10cm掘った所 セシウム137=5.85ベクレル
 - ・砂浜から20m離れた所の表層のヘドロ
セシウム134=3.8ベクレル／セシウム137=16.7ベクレル
 - ・区内公園で自生していたキノコ
セシウム134=3.8ベクレル／セシウム137=16.7ベクレル
 - ・区内親水公園の泥
セシウム134=141ベクレル／セシウム137=526ベクレル
 - ・区内にある子どもの遊び場で泥遊びする土
セシウム134=13.12ベクレル
セシウム137=54.14ベクレル
 - ・親水緑道の土の一部 270ベクレル
 - ・培養土(市販品) 19ベクレル
 - ・柏市内にある公園の土26ベクレル
- ※空間線量が基準を超えないと除染の対象にならないし、1kgで26ベクレルなので公園全体にしたら何千、何万ベクレルになる。そこで遊ばせておいてよいのか疑問です。

小水力発電で地域自立をめざす集落

～岐阜県石徹白(いとしろ)訪問記 山崎求博(世話人)



さる6月20日、岐阜県の石徹白(いとしろ)に行ってきました。小水力発電に取り組み、住民が新たに農協を設立して集落の電力需要をまかなえるだけの発電所を造ろうとしている、今注目の場所です。人口わずか250名の集落が、なぜこれだけの事ができたのか、地域の文化や歴史にも触れながら紹介したいと思います。

石徹白は、白山信仰の対象である白山への入口に当たり、その参拝客が常時3千人も滞在する宗教センターでした。戦後、道路整備などの地域開発に消極的な福井県に対して、岐阜県側の白鳥町との越境合併を求める動きが起きます。合併派と残留派による村民の取り込み合戦は、村会議員のリコール運動や村役場が2つできるといった大騒動に発展していきました。最終的な決着は政府・与党自民党の裁定に委ねられ、白鳥町との越境合併が行われます。1958年のことです。

しかし、合併当時1,200人だった人口は減少の一途をたどり、2003年には280名を割り込み、集落の存続をどうしていかかが課題となっていました。そして、小学校に通う子どもたちが途絶えないように、集落の中にある資源を活かして自給自足的な暮らしを営むことができる若い人たちを育てていこうと考えたのです。「ぎふNPOセンター」の協力を得ながら検討した結果、着目したのが小水力発電でした。

2008年、小水力発電の実証実験として「らせん水車」を設置します。らせん水車とは、ネジのようならせん状の羽根で流水を受け止め、その回転で発電するもので、落ち葉ぐらのゴミなら水と一緒に流してしまうため保守管理が比較的簡単です。これを集落内に流れる農業用水路に設置しました。出力300ワットほどです。

そして、今では改良されたらせん水車が稼働していました。らせんの芯の部分のを太くすることで水を受け止める力が増し、発電出力は500Wになっていました。太陽光発電なら1世帯分の消費電力をまかなうために4kW必要なことを考えると、ひどく小さく感じますが、雨天や夜間発電しない太陽光発電にくらべ水が流れている限り雨天でも夜間

なぜ内部被ばくがこわいのか、脱原発をめざして

『被ばく医師・肥田舜太郎が伝えたいこと』(前半53分/後半41分 CD2枚組セット)

・終わっていない福島原発事故、ヒロシマの惨劇、世界の被ばく者、ほか
CD2枚組セット 頒価500円でお分けします。